

## 第12回 地震・地震動検討会 議事録

1. 開催日時：平成20年 12月 16日（火） 16：30～17：00

2. 開催場所：航空会館 202会議室

3. 出席者：（順不同，敬称略）

委員：工藤主査（日本大学教授），久田副主査（工学院大学教授）久野幹事・渡部（中部電力），佐伯（北海道電力），石川（東北電力），高橋（東京電力），小笹（北陸電力），岡崎（関西電力），松崎（四国電力），仲田（電源開発），川里（日本原子力発電），武村（鹿島建設），壇（清水建設）（計14名）

代理出席：秋山（中国電力・阿比留代理）（計1名）

欠席委員：佐藤（電中研），赤司（九州電力）（計2名）

オブザーバー：池浦（鹿島建設）（計1名）

事務局：平野（日本電気協会）（計1名）

4. 配布資料

資料 No.12-1 第11回 地震・地震動検討会議事録（案）

資料 No.12-2 JEAG4601「原子力発電所耐震設計技術指針」（改定案）の公衆審査意見対応（案）

資料 No.12-3 JEAG4601「原子力発電所耐震設計技術指針」（改定案）の公衆審査意見対応（案）に伴う追加・変更箇所

参考資料 1 耐震設計分科会 地震・地震動検討会委員名簿

参考資料 2 JEAG4601「原子力発電所耐震設計技術指針」（改定案）  
【第1章 基準地震動策定】

参考資料 3 JEAG4601「原子力発電所耐震設計技術指針」（改定案）の公衆審査意見対応（案）【第33回 耐震設計分科会 資料 No.33-4-1】

参考資料 4 JEAG4601「原子力発電所耐震設計技術指針」（改定案）の公衆審査意見対応（案）に伴う追加・変更箇所  
【第33回 耐震設計分科会 資料 No.33-4-2】

5. 議事

（1）代理出席者及び会議定足数の確認

事務局より，本日の代理出席者1名の紹介があり，工藤主査によって承認された。また，代理出席を含む出席委員は15名であり，規約上，決議に際して求められる委員総数の2/3以上の出席（12名以上）を満たしていることを確認した。

(2) 前回議事録(案)の確認

事務局より、資料 No12-1 に基づき、第 11 回地震・地震動検討会議事録(案)が読み上げられ、出席者全員の賛成で承認された。

(3) JEAG4601「原子力発電所耐震設計技術指針」(改定案)に関する公衆審査における意見対応について

久野幹事、渡部委員より、資料 No12-2, 資料 No12-3, 参考資料 3 および参考資料 4 により公衆審査における意見に対する対応(案)およびそれに伴う追加・変更箇所の説明があった。資料 No12-2 の対応(案)および資料 No12-3 の追加・変更箇所の一部を修正すること、また、今後の規格委員会等におけるコメント対応による軽微な修正は主査・幹事に一任することを前提とし、出席者全員の賛成で承認された。

主な意見を以下に示す。

【資料 No.12-2 について】

- ・①対応案の「・・・本手法が適合することを確認するとともに、・・・」は意見者に明確に答えるよう記載した方が良い。

→適用性を検討した結果の記載について誤解を与えないため、「・・・本手法が適合することを確認するとともに、・・・」は「・・・本手法が実現象の平均像を再現することを確認するとともに、・・・」に修文する。

また、添付-1 の「・・・他地点観測(下図の Fig6)に対しても本手法が適合・・・」も同様に修文する。

【資料 No.12-3 について】

- ・資料 No12-2 のコメントと同様、適用性を検討した結果の記載について適切な表現とした方が良い。

→(1)本手法の適用性の「・・・上記評価式の適用性の確認を行った。」を「・・・上記評価式が実現象の平均像を再現することを確認した。」に修文する。

- ・附図 1.1-1 の文献名がわかるよう、追記した方が良い。

→参考文献を参照していることがわかるよう追記する。

また、合わせて、附属書の参考文献についても追加する。

(4) 次回検討会の予定

開催日時は別途調整することとした。

以上